

## 2016 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 金沢市立小坂小学校 ] 担当教諭名 [ 岡本 光司 ] ( 4年4組 31名 )

相手国・地域 [ アメリカ ]

海外学校名 [ St Pius X School ] 担当教諭名 [ Jeanie Warrick ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	金沢の伝統文化	30
	社会	世界とつながるわたしたちの石川	10

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	伝統工芸の継承と発信
メッセージ (相手と一緒に絵に込めた想い)	自分たちの地域の、文化や自然の良さを実感し、世界に発信することでさらなる発展を目指す。
 	

### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自国の文化や、石川県の自然、環境の特色について、深く追求学習することが出来た</li> <li>・英語を活用しようという児童の意欲が高まり、英語インストラクターに自ら文法を学びに行く姿が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手校とのコミュニケーションが不十分であり、児童同士の対話的な学習にならなかった。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカのなかでも、インディアナ州について調べていく中で、各州で全く異なる文化や自然環境であることを学習していた。</li> <li>・自分たちの文化を世界に発信していきたいという意欲は高まっていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手校とのコミュニケーション不足を感じた。返信がないときに、自分がリードして何とか進めていこうという態度が必要であった。</li> <li>・相手校が宗教や地域のイベントをととても大切にしており、日本の小学校の閉ざされた学習環境と異なり、魅力を感じた。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	・自己紹介動画の作成 ・アメリカ合衆国についての調べ学習	自分たちの姿が、インターネット回線を通してアメリカに繋がるという経験に、関心、意欲が高まっていた。積極的に英語を使おうとしていた。	総合5
共有 テーマ学習	10月	・自国の文化、石川県の文化の学習 ・伝えたい内容の絞り込み	自分たちの紹介する文化について、詳しく追求することが出来た。そのなかから、特に紹介したい項目をしばって、さらに学習を進めていた。	総合5
融合 メッセージ 壁画デザイン	11月	・壁画のレイアウトの決定 ・壁画に描くコンテンツの紹介	自分たちの伝えたいメッセージを、児童が話し合う中で決定していた。描くコンテンツを、簡単な英語新聞にして送信した。英語表現に苦労していたが、意欲的であった。	総合10
創造 壁画制作	12月	・壁画の作成 ・プレゼントの作成	実行委員を中心に、計画的に壁画を作成していた。完成した際は、自分たちでも納得の作品になったようであった。	総合5 社会5
評価 振り返り 自己評価	3月	・壁画の鑑賞、振り返り	完成した壁画を鑑賞した。自分たちの描いたものと比較して、文化の違いを楽しんでいた。	総合5 社会5

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入(A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え(5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	自国の文化について、紹介するという目的意識を持って追求することが出来ていた。
異文化の理解	B	2	相手の文化の調べ学習には限度があった。指導する立場の教師の力不足を感じた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	2	自分たちがセンテンスを獲得しようという意欲はすばらしかった。相手からの対話が出来なかったのが悔やまれる。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	5	メディアを活用し、情報発信することが出来た。
人間関係をつくる (学級内・海外の相手)	B	3	相手校からのレスポンスが遅く、返ってきて自分自身、他の学校行事の指導を優先してしまった。
協働する力 (役割分担・協力)	B	4	児童だけで計画的に学習を進め、役割分担をしながら活動することができた。
学習を追究する意欲	A	5	家庭学習の時間を使って、宿題とは別に調べ学習をする姿が見られた。
表現力 (伝えたいことを言葉・絵で表す)	B	3	自分たちの伝えたいメッセージは、書くことが出来ていた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	B	3	観点を持って、鑑賞することが出来なかった。